

茨木高校野球部

OB会報

発行
大阪府立茨木高校
野球部OB会

祝 創部100周年 未来へ輝け! 茨高野球部 令和3年 大阪府立茨木高等学校硬式野球部OB会

祝!!

茨木高校野球部百周年
高一回 多田 和昭



不思議と涙は出てこなかった。焼くような熱い熱気が藤井寺球場を覆っていたと思う。実際には汗が一杯ふきかしていたと思う。汗をぬぐった覚えもない。突然に脱力感が身体全体を支配した感じ。「あーこれで今年の夏は終わったのか」試合終了のサイレンが鳴り響いたその時の今に残る記憶である。

第29回全国中等学校優勝野球大会
大阪予選(註1)
決勝戦 昭和22年8月1日(一九四七年)
茨木 000000000000
浪商 020020000000-4
打安振四犠盗失
茨木 31736103
浪商 31711122

試合の経過は全くといってよいほど記憶にない。中川遊撃手がみせてあろう好守備とか、吉川投手の制球力のよい投球内容とか、高橋三塁手や沖田捕手等の打撃のメモリーは消え失せていた。資料によると、一回は高橋が安打、四回は沖田が2塁打、五回には2死満塁、六回にも「死」三塁と攻めており、打出ていればと

いう試合運びで、朝日の試合評にも「実力において大した相異は無かった」と記されている。

因にこの決勝戦に出場したメンバーをオーダー順に紹介しておきたい。

(遊) 中川 (中) 中村 (投) 吉川恒
(捕) 沖田 (三) 高橋 (二) 堀 (左) 広瀬
(二) 松井 (右) 松井

戦後間もない耐乏時代、空腹をこらえ米澤監督(註2)の強烈なノックに耐え、暗くなつて球が見えなくなつたからの走塁練習、ボールバットの調達等、思い出せばつひつこの事が、昨日のこのように、あの頃はよく頑張れたなあという感慨と共に懐かしき青春語として走馬灯のように浮かんでくる。若さと情熱をグラウンドに叩きつけ、一つの事に熱中して身につけた、何事にも打ち込めるという信念と準備勝したという誇りには、チームメイトそれぞれのその後、大きく寄与したことに信じている。(註3)

尚、主戦の吉川(恒)が投げた、夏の大阪府予選の戦績は次の通りである。

第29回大会(昭和二年一九四七年)

参加80校

一回戦 茨木中3-0 興國商

二回戦 茨木中5-3 八尾中

三回戦 茨木中8-2 上宮中

四回戦 茨木中2-1 豊中中

五回戦 浪華商4-0 茨木中

六回戦 優勝

第30回大会(昭和三年一九四八年)

参加80校

一回戦 茨木高1-0 四条畷高

二回戦 大鉄高2-0 茨木高

三回戦 代表 天王寺高

第31回大会(昭和四年一九四九年)

参加91校

一回戦 茨木高3-0 島野高

二回戦 5-0 関大 高二

三回戦 八尾高3-2

代表 高津高

対八尾高戦は十六回の延長戦であった。

次に私達が共に練習に励んだ先輩

後輩の、夏の大会予選大阪大会の戦績を

記しておく。

第28回大会(昭和二年一九四六年)

参加54校

一回戦 茨木中7-6 浪速工

二回戦 茨木中8-1 市立中

三回戦 扇町商7-0 茨木中

投手は三試合とも土山代表 浪華商

(第29回 30回 31回は、前頁御参照下

さい)。

第32回大会(昭和五年一九五〇年)

参加89校

一回戦 茨木高(三島野高)

二回戦 8-1 日新商

三回戦 茨木高(三島野高)

四回戦 4-1 泉尾高

五回戦 茨木高(三島野高)

六回戦 4-1 生野高

七回戦 8-2 布施高

八回戦 茨木高(三島野高)

九回戦 12-6 港高

十回戦 優勝 西野田工 7-3

投手は吉川(純) 加藤代表 泉大津高

対西野田戦は吉川(純)完投

第33回大会(昭和六年一九五一年)

参加92校

一回戦 茨木高(三島野高)

二回戦 6-2 府農業

三回戦 今宮工 4-3

四回戦 茨木高(三島野高)

五回戦 優勝 吉川(彌) 滝井

二回戦 吉川(彌) 滝井

余談ながら、昭和二年(一九四六年)の

新チームによる大阪府の秋季大会は、

抽選会の連絡不備のため出場出来な

かったが、翌二年(一九四七年)の春季

大会には4強に残り、夏の大会予選大阪

大会では、優勝戦まで進出したチームで

あった事を考えると、二年の秋季大会に

出場していたら、三年の選抜大会に出場

可能な成績をあげていたかもしれない。

今以て心残りのする思い出である。

明治一八年(八九五五年)四月二五日に

創立された茨木中学は、その当時の初代

加藤達吉校長の主旨で切の対外試合は

禁止されていた。

大正九年(一九一〇年)の夏に、クロル等の

近代泳法をとり入れた杉本伝先生(註4)

が加藤校長を口説いて、戸田で開かれた

東京帝大主催の水泳大会に出場、初参加

初優勝したのをきっかけに、大正十一年

(一九二二年)の夏に中等野球大会に出場

することを目標に大正七年(一九二二年)から

チームを編成して杉本先生の指導のもとに

練習を始めた。その年の夏の大会予選大会の

参加校は十校であった。

初出場の第八回大会は、七校が出場、

北野中に8-4で敗れた。夏の野球大会

大阪予選における茨木中の初勝利は、翌

第九回大会大正十一年(一九二三年)八月

一日に鳴尾球場にて豊農農商を5-13と

退けたものである。以降夏の大会は、

第十回大会(大正十一年一九二二年)から、

第十二回大会(大正十五年一九二六年)ま

で三年間リーグ戦形式で行われ敗者

復活戦も含めて四勝七敗であった。トーナ

メント形式に戻った予選大会は、第十

三回大会(昭和二年一九二七年)に天王

寺中に9-6で、第三回大会(昭和十

一年一九三三年)に城東商に勝利した以外

毎年一回戦で敗退している。戦前最後の夏の

大会予選大阪大会となった第七回大会

(昭和十六年一九四一年)は、各地の予選が

日程の途中で中止となるなか、応優勝戦

まで挙行され、日新商が浪華商を1-0

で破り優勝した。茨木中は一回戦で

城東商に8-10で敗れた。

戦前参加の19回大会(第十七回)は

不参加の成績は31戦して七勝二四敗

勝率は〇・二二六であった。記録としては、

必ずしも自慢すべきものでは無いかも知れ

ないが、野球部及びOB全員共有の記録

であり歴史である。

では、昭和二十年(一九四五年)八月十

五日の終戦後の野球等に関する生徒の

関心はどの様なものであったかという

こと、今までの政治政策はがらりと変わり、教育

内容も八〇度変わったものとなったため、

学生徒達も大変だったが、教える側の

先生方も並大抵の意識改革では、世の中

の大変化を生徒に教えることは、至難の

ことであると思う。この様な状況であつ

たので、生懸命に勉強に励むとか運動に

集中するとかの気分的余裕など、生まれ

る余地はなかった。しかし終戦から2ヶ月

もするとキヤッポールや三角ベースなど

野球らしいものが、ぼちぼちと生徒の間で

行われる様になってきた。そこで十月中旬の

ある日、朝から中49回の米澤福徳氏ら

野球に関心のある人達が野球部の結成を

呼びかけた。放課後、北庭に集まった80名

を超える生徒の中から、上手そうな生徒

30名程度を選んだ部員にしたのが、戦後の

茨木中野球部復活のブローグであった。

(戦争中、校友会の部は、報国団の班と呼

ばれる様になり、野球は敵性スポーツと

して廃止されていたが、班として復活し

昭和二年(一九四六年)の5月から10月く

らいの間に、再び部と改称される様に

なった。

昭和二年(一九四七年)の夏の大会予選

大阪大会の優勝戦を中心に、その前後の

茨木高校野球部の歴史の部と、大阪大会

に出た創設時の経緯を書いてきたが、(〇〇

年の歴史を語る野球部の中でも、この時

代が最高に充実していた時ではないかと

思う。

一つの勝利を得るためには、多くの要素

が絡みあっているが、特に優勝のトナ

メントを勝ち進むためには、選手個々の

技量、練習の質と量、チーム全体のバラン

スなど、チームとしての実力がなければなら

ないことはもちろんのことだが、天の時、

地の利、人の和も大きな要素となる。選手

個々の素質はたゆまぬ努力と練習によつて

活かせるのである。そして何事にも力

をつことに集中できる精神力と、持事にも

全力でぶつかることが出来るという自信

を持つて、お互いに切磋琢磨してよい結果

を得ることが出来る様に精進して欲しい

との想いを後輩に託すと共に、茨木高校

が甲子園出場を果たすであろう夢を、これ

からも追い続けていくことにする。

(註1)現 全国高校野球選手権大会

予選大阪大会で第30回から変更さ

れた。

(註2)米澤福徳氏中49回卒業 立命館大学

に進学 野球部に入部されたがすぐに

退部 茨木中中の野球部監督に無給で

就任 大正卒業まで継続された。大阪

市役所に就職

(註3)「青春万歳!!夏の野球大会準備優勝」

タイトル、雑誌「天つ空見」一九五

年十一月刊に記されたものを引用

(註4)杉本伝先生茨木中中回卒業 近代泳法

のクロール等を取り入れ水泳界の

名を全国に喧伝せしめたい水泳界の

先駆者一九二四年のバリ、八二年アム

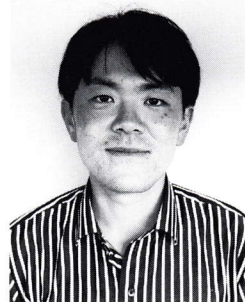
ステルダム、三年のリスアゼルズオリ

ピックに日本の役員として出席されて

いる。

ご挨拶

責任教諭 永瀬翔太



現役選手

三年



國吉 吹樹

出身校 大阪市立宮原中学

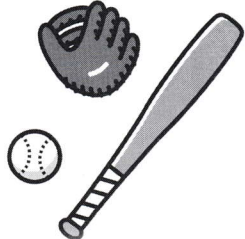
投打守 外野手 右投 右打

日頃から茨高野球部を応援してくださりありがとうございます。茨高野球部は今年で百周年を迎え、記念すべき節目の年に立ち会うことができ、歴史の重みを感じるとともに、うれしく思います。皆様の支援のおかげで設備や道具に困ることなく、野球に打ち込めています。改めて感謝申し上げます。

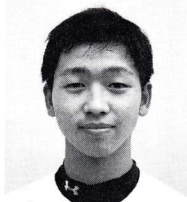
僕達の代は秋の大会で私立を倒し、勝ち上がるために、早い段階から実戦的な練習を重ね、できる限りの準備をしました。公立校相手には勝利を重ね、自信もありましたが、秋の大会では私立相手に惨敗し、悔しい思いをしました。コロナの影響により満足に練習ができないうちに、大会では結果を残せるように、残り少ない時間を大切にして練習に励んでいきます。

最後になりましたが、これまで茨高野球部を支えてくださったOB O Gの皆様に改めて感謝いたします。今後ともよろしくお願ひします。

夏至の候、OB会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。高校63回の永瀬翔太と申します。この度、6年勤務いたしました前任校から、母校である茨木高校へ異動というご縁をいただきまして、4月より部長として野球部の活動に携わっております。伝統あるユニフォームに再び袖を通すたびに、見慣れたグラウンドでノックを打つたびに、懐かしさ、嬉しさがこみ上げてきます。かつての私は、高校野球を通して本心に贅沢な時間を過ごさせていただきました。何気なく入部した野球部での、先輩方が着実に積み上げ勝ち上がったいく姿を見た時の憧れ、自分たちがそうありたいと思つてもうまくなかった日々のもどかしさ、限られた時間で差を埋めようとする試行錯誤の繰り返し、その過程で得られた友人たちとの今なお続く繋がり、素晴らしい恩師との出会い、これらは高校野球なしでは得られていなかったであろう、私の貴重な財産です。決して技術的に優れた選手ではありませんでしたし、目立った成績を挙げられただけではありませんでした。それでも、こうして高校野球に魅せられ、その経験が今の私を形作っています。こうして縁あつて母校の野球部に関わる機会を頂いたからには、次の世代の部員たち1人1人が他では得難い経験をして、次の舞台に進んでいくことを、そんな野球部であるように努力してまいりたいと思います。なにぶん、力不足な面も多分にあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



三年

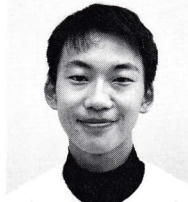


経田 陸斗

出身校 大阪市立東淀中学
投打守 投手 右投 右打

自分にとって不利な状況を言い訳にせず、今まで磨いてきた自分の逆境をはね返すという強みを持つて挑む。

三年

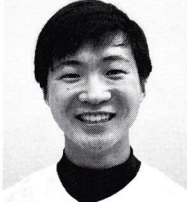


中原 大智

出身校 池田市立渋谷中学
投打守 外野手 右投 左打

出塁したりチャンスメイクするの自分の役割なのでそれを果たしてチームの勝利に貢献していきたいです。

三年

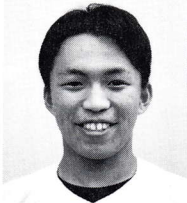


前田 柊人

出身校 吹田市立千里丘中学
投打守 二塁手 右投 左打

積極性のある守備でチームを盛り上げ、流れを持ってこられるように、一球一球全力でプレーをします。

二年

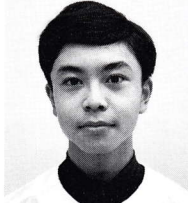


大山 快

出身校 茨木市立養精中学
投打守 捕手 右投 右打

捕手として自分の強みである鋭い洞察力とねちつこいバットティングでこのチームを勝利に導きます。

二年



小川 修哉

出身校 茨木市立養精中学
投打守 投手 外野手 右投 右打

誰にも負けぬような投手となり、攻守ともに大切な場面を任せられるような選手になりたいです。

二年



川名 翔太

出身校 茨木市立天王中学
投打守 外野手 右投 右打

打席では粘り強く確実なバットティングをするだけでなく、出塁率の面でも貢献できるように頑張ります。

二年

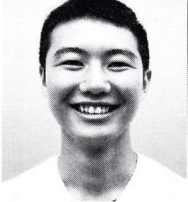


大北 真優

出身校 箕面市立第四中学
投打守 一塁手 右投 右打

コミュニケーションを大切にして、限られた時間を最大限に有効活用できるようにサポートします。

一年

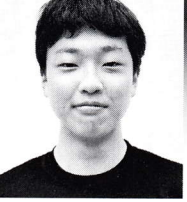


五十嵐 詩雲

出身校 高槻市立柳川中学
投打守 投内野手 右投 右打

一年の五十嵐詩雲です。チームを引っ張っていける選手になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

一年



板山 莉久

出身校 吹田市立南千里中学
投打守 投手 左投 左打

チームの目標である応援されるチームを目指しつつ、エースを目指して毎日努力したいと思っています。

一年

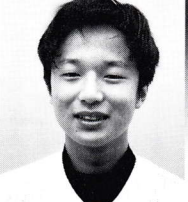


竹田 凌也

出身校 豊中市立第十七中学
投打守 二塁手 右投 右打

茨木高校の野球部は歴史のある野球部なので、歴史を感じつつ応援されるチーム目指して頑張ります。

一年

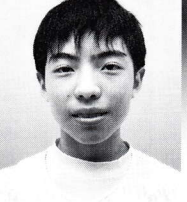


濱田 慎一郎

出身校 箕面市立第二中学
投打守 内野手 右投 右打

一年の濱田慎一郎です。レベルの高い大阪府の中でも、上位に食い込んでいけるように努力したいと思います。

一年



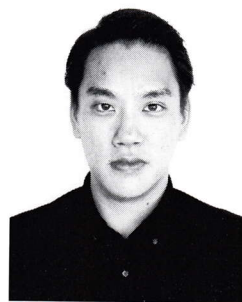
宮本 優太郎

出身校 豊中市立第二中学
投打守 内野手 右投 右打

この歴史ある野球部でこれからプレーすることが楽しみです。毎日全力で野球に取り組みたいと思います。

ご挨拶

監督 石丸寛明



盛夏の候、OB会の皆様におかれましては益々一健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校野球部の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度は創部100周年に際し、様々な形でOB会の皆様にご支援いただきました。重ねて感謝申し上げます。

さて、創部100周年を迎えるにあたり、改めてその歴史の長さ、重みというものを感じております。100年の歴史の中で、多くの野球好きの若者たちがバイマークのユニフォームに袖を通して汗を流し、多くの指導者たちがそれを見守ってきたことと思います。そこには数多くのドラマがあり、それらの営みが紡がれて茨木野球部を形作り、現在までその精神を脈々と受け継いでいるのだと思います。この歴史あるチームの節目の年に、監督として携われることを嬉しく思うとともに、身を引き締まる思いです。これからの歴史に新たな1ページ目を刻む世代として、OB会の皆様の思いも胸に、野球を楽しみ、野球を通して成長していきけるようなチームを目指して参ります。

この春から異動に伴い本校野球部OBの永瀬先生が着任され、責任教諭を務めていただいております。同年代の大変心強い存在に日々助けられております。コロナ禍で思うように練習できない日々が続きましたが、部員たちは腐らず前だけを見つめています。彼らにとつて忘れられない夏となるよう、指導者である我々も尽力して参ります。

末筆ながら、今後とも本校野球部をどうぞよろしくお願い致します。情勢が落ち着きましたら、またグラウンドや球場へと足をお運びください。

三年



井上 瑞稀

出身校 豊中市立第四中学
投打守 投手 右投 右打

自分の持ち味である変則的な打球フォームを生かして、相手の打者を翻弄し、勝利に貢献したいと思っています。

三年



鵜飼 真佑

出身校 茨木市立南中学
投打守 内野手 右投 右打

チームを勢いづける積極的な走塁と、しぶとく次の打者に繋ぐ打撃でチームに貢献し、悔いのない夏にします。

三年



小野沢 塁

出身校 豊中市立第十中学
投打守 三塁手 右投 左打

自分の強みである打撃を中心にチームの勝利に大きく貢献し、先輩方の思いを胸に、私立の壁を突き破ります。

三年



本幡 治貴

出身校 豊中市立第二中学
投打守 中堅手 右投 右打

自分らしく思い切ったプレーでチームを盛り上げます。良いプレー良いバッティングをたくさんします。

三年



安川 創

出身校 高槻市立芝谷中学
投打守 内野手 右投 左打

野手時は常に前を向いて楽しくプレーして、投手では不気味な球を投げて相手に困惑を与えたいと思います。

三年



坂本 健樹

出身校 高槻市立第八中学
投打守 三塁手 右投 左打

十人目のプレーヤーとしての意識で、チームが万全の状態を夏を迎えられるようにサポートします。

二年



黒木 惟之介

出身校 茨木市立西陵中学
投打守 遊撃手 右投 右打

自分の調子が悪くても下を向くことなく前向きなプレーを心掛け、精一杯試合を楽しみたいです。

二年



富田 健太朗

出身校 茨木市立西陵中学
投打守 中堅手 右投 右打

自分の最大の武器である「足」を生かした打撃、守備、走塁をできるような頑張りますので応援をお願いします。

二年



樋尻 太貴

出身校 吹田市立古江台中学
投打守 内野手 右投 右打

一年生の時と比べて成長した体と技術を使って試合に出た時は三年生よりも暴れていきたいです。

一年



宇山 昂佑

出身校 茨木市立三島中学
投打守 二塁手 右投 左打

チームのために一つのプレーをより具体的に解明・探求し、質の高い野球に努め、日々精進して参ります。

一年



神田 悠輔

出身校 高槻市立芝谷中学
投打守 内野手 右投 右打

一年の神田悠輔です。走攻守全ての面でレベルアップして、チームの勝利に貢献できるように頑張ります。

一年



神能 大夢

出身校 高槻市立芝谷中学
投打守 投手 右投 右打

歴史ある茨木高校野球部に入部でき嬉しく思います。その名に恥じないようなプレー、行動を心がけます。

一年



吉木 一真

出身校 高槻市立芝谷中学
投打守 中堅手 右投 右打

私の年間の目標は、勿論チーム貢献ですが、まずは体重を減らさないこと、ケガをしないことです。

一年



小中 快司

出身校 吹田市立南千里中学
投打守 右投 右打

マネージャーとしてチームを全力で支え、チームに貢献し、大阪一番のノッカーになりたいと思っています。

一年



松本 治夏

出身校 私立立命館中学
投打守 投手 右投 右打

チームの皆さんが、気持ちよく練習に取り組めるように、自分ができることを精一杯頑張ります。

試合結果

[illegible][illegible]

硬式野球部卒業生進学状況

大 学	69期(17年3月卒)		70期(18年3月卒)		71期(19年3月卒)		72期(20年3月卒)		73期(21年3月卒)		計
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	
京都		1	1			1	1				4
大阪	4	1	4	2	1		1	1	4		18
神戸	1	1	2	3	4		1	1	1		14
大阪府立								1	1		2
大阪市立		1	1	1	1	1					5
大阪教育					1						1
奈良女					1						1
北海道	2										2
東北		1					1				2
千葉							1				1
埼玉									1		1
金沢				1	1						2
京都工繊	1										1
兵庫県立									1		1
広島		1							1		2
九州					1						1
同志社				3							3
立命館	1	2					1				4
京都産業						1					1
関西学院							1				1
早稲田	1										1
大阪医科看護			1								1
合 計	10	8	9	10	10	3	7	3	9	3	69
	18		19		13		10		12		72

OB会事務局からのお知らせ

100周年記念サイト是非ともご覧ください。

記念画像や企画など掲載されています。

47回松枝洋さんが製作に

奮闘頂いています。

茨木高校硬式野球部

茨高野球部WEBサイト (ibako-bc.net)

100周年事業への

寄付金お待ちしております。

100周年事業実行委員長：関野 武良

2020年度 OB会会計報告

茨木高校野球部OB会 会長 泉 勇策
2020年1月1日～12月31日 会 計 寺井 香代

		予 算	決 算	増 減
収入の部	前年度繰越	719,507	719,507	0
	会費	450,000	480,000	30,000
	寄付金及び利息	450,000	399,101	-50,899
	修繕積立用寄付金	100,000	100,000	0
	計	1,719,507	1,698,608	-20,899
支出の部	現役運動用具補助	450,000	443,800	6,200
	OB会報印刷代	140,000	104,940	35,060
	通信費	110,000	106,444	3,556
	現役大会前激励会費	30,000	0	30,000
	雑費(久敬会館使用料他)	20,000	5,090	14,910
	OB会名簿積立	50,000	50,000	0
	OB会名簿	0	0	0
	新OB会員入会式費用	15,000	0	15,000
	マシン修繕費	100,000	0	100,000
	修繕積立金	100,000	100,000	0
	OB合宿参加補助	40,000	0	40,000
	予備費	20,000	30,000	-10,000
	計	1,075,000	840,274	234,726
次年度繰越		644,507	858,334	-213,827

次年度繰越858,334円の他に、OB会名簿積立150,000円修繕積立金600,000円を繰り越しています。

監査の結果、正確であり、上記の通り相違ないことを認めます。

2021年1月15日 茨木高校野球部OB会 会計監査 赤井 浩輔

2021年度 OB会予算

2021年1月1日~12月31日

		2020年度決算	2021年度予算
収入の部	前年度繰越	719,507	858,334
	会費	480,000	480,000
	寄付金および利息	399,101	450,000
	修繕積立用寄付金	100,000	100,000
	計	1,698,608	1,888,334
支出の部	現役運動用具補助	443,800	450,000
	OB会報印刷代	104,940	140,000
	通信費	106,444	110,000
	現役大会前激励会費	0	30,000
	雑費	5,090	20,000
	OB会名簿積立	50,000	50,000
	OB会名簿	0	0
	新OB会員入会式費用	0	15,000
	マシン修繕費	0	100,000
	修繕積立金	100,000	100,000
	OB合宿参加補助	0	40,000
	予備費	30,000	20,000
繰越	858,334	813,334	
計		1,698,608	1,888,334

会費の納入について

(1)年 額 社会人 3,000円 学生 1,000円
(2)振込先 (イ) 郵便振替口座 00960-0-101468
茨木高校野球部OB会
(ロ) 三菱UFJ銀行 歌島橋支店
普通預金口座 3,762,188
茨木高校野球部OB会 会長 泉 勇策

茨木高校野球部HPアドレス <http://www.ibako-bc.net>